

「吸引付きアクセスシースを用いた尿管結石破碎術（TUL）における初期経験と感染症リスクの検討」に関する研究

1. 研究の対象

本研究の対象となる患者様は、2024 年 5 月 13 日から 2025 年 11 月 30 日までの間に、高知大学医学部附属病院泌尿器科において、尿管結石に対して経尿道的尿管結石破碎術（Transurethral Ureteroscopic Lithotripsy : TUL）を施行された患者様を対象とします。

2. 研究目的・方法

・ TUL は尿管結石に対する標準的な治療法です。近年、吸引機能付きアクセスシース（内視鏡を尿管内に安全に出し入れするための細い管で、結石の破片や水を吸い出す機能を備えた医療器具）を併用することで、術中の腎盂内圧（腎臓の中に尿がたまる部分にかかる圧力）上昇を抑制し、結石破片や灌流液（手術中に視野を確保するために流す洗浄用の液体）を効率的に排出できることから、尿路感染などの術後感染症のリスク低減が期待されています。

本研究では当科における治療経過に記載された情報を用いて、吸引付きアクセスシースを使用した TUL における術後感染症の発生率や関連因子を後ろ向きに解析し、本手技の安全性と有効性を検討することを目的としています。

- ・ 研究期間：倫理委員会承認から 2028 年 12 月 31 日まで
- ・ 利用又は提供を開始する予定日：2026 年 10 月 1 日から

3. 研究に用いる情報の種類

本研究では、新たな検査や試料採取は行いません。

診療録から以下の情報を収集し使用します。

- 年齢、性別
- 基礎疾患（糖尿病など）
- 結石の部位・大きさ
- 術前尿検査・尿培養結果
- 手術時間、使用機器
- 術後発熱や感染症の有無
- 血液検査結果
- 画像検査（CT、超音波など）

※個人が特定されることのないよう、情報は匿名化して解析します

4. 個人情報の保護について

患者様の個人情報は、研究責任者の管理のもと厳重に保護され、研究以外の目的で使用されることはありません。研究成果は学会や論文等で公表される可能性がありますが、個人が特定されることはありません。

5. 研究への参加を希望されない場合

本研究は、通常の診療で得られた情報を用いる観察研究であるため、文書による同意取得に代えて、情報公開（オプトアウト）を行っています。

ご自身の診療情報が本研究に使用されることを希望されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、診療上の不利益を受けることは一切ありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505

高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部

電話；088-880-2402

【研究責任者】 藏野吉隆 高知大学医学部附属病院 泌尿器科

【研究担当者】 山本新九郎 高知大学医学部附属病院 泌尿器科